

県立広島大学教学情報の収集と利用について

副学長（教育・学生支援担当）

1. 教学 I R の定義と実施目的

県立広島大学（以下、「本学」という）では、学生の皆さんに関する様々な情報（以下、「教学情報」という。）を収集・分析し、その結果を皆さん一人ひとりの成長と、本学の教育の改善のために活用します。大学における教学情報の収集・分析を伴う調査研究を教学 I R（Institutional Research）と呼びます。以下に教学情報の収集と利用の方針を示します。

2. 教学情報の取扱いについて

- (1) 本学で収集する全ての教学情報は、大学における教育の改善のため、教学 I R 推進室における分析に活用します。
- (2) 「教学情報」とは、主に学生の皆さんの成績、履修に関するデータや、各種アンケートの回答結果データ等を指します。
- (3) 本方針における「学生」とは、広義として在学生、卒業生、本学志願者（高校生、社会人）を指し、狭義として使用する際はそれぞれ「在学生」「卒業生」「高校生」と指定します。
- (4) 教学情報を分析のために閲覧、利用することができる教職員は限定され、教学 I R システム上で、誰がどのような情報を閲覧、集計、分析したかという履歴は保存されます。
- (5) 学生の皆さんが回答するアンケートについては、主にオンラインにより実施します。記名式又は学籍番号を入力する等の方法による場合であっても、分析結果の学内の共有及び学外への公表にあたっては、必ず個人が特定されないよう処理を行います。

3. 評価に係る指標等について

教育の改善のため、予め設定する達成目標等の測定については、予め「いつ、どの調査で、どのような設問で、どのような計算式で把握する」ということを明確にして調査を行います。

4. 分析結果の取扱いについて

- (1) 分析結果は、誰もが分かりやすい形でグラフ等により可視化し、①在学生へのフィードバック ②本学教育の改善 ③大学の社会的責任としての学外への情報公表の3つの視点において活用します。

- (2) 分析は、次の3段階において実施します。①学生個人レベル ②学部・学科レベル ③大学（機関）レベル また、それぞれの分析結果については、次のように活用します。①個々の学生が自身の学びの改善に繋げるためのフィードバック，助言 ②学部・学科における教育内容等の改善 ③大学全体の教学に係る方針決定や，全学共通教育科目等の改善等
- (3) 分析結果は，本学の中期計画／年度計画と連動し，中・長期的に活用します。